

# 北鹿の学び舎から

2023

おかげさまで **30** 周年

卒業生からのメッセージ～30周年に寄せて～ ④ 秋田職能短大

# 創立30周年に寄せて

秋田職業能力開発短期大学が創立30周年という節目の年を迎えるにあたり、歴代校長をはじめ、指導教員、職員の方々、そして多くの卒業生、在校生、関係者の皆様方、

この度は誠にありがとうございます。心からお祝い申し上げます。

御校の第2期生として入学し、住居環境科で建築を学び、今でも仕事として建築を続けられていること、切に感謝しております。

「これからは建築だぞ」

高校生の頃、就職すべきか、進学すべきか、将来の目的が何も決まらずどうしようかと悩んでいた時、聞こえてきたのは友達のこの言葉でした。ちょうどその頃、建築を学べ

M I U R A 設計室 代表

三浦 司 さ

住居環境科 (平成8年度卒業)

る学校が地元大館に出来るというところで、御校へ入学を決意したことが、建築の道を歩むきっかけとなりました。

御校を卒業後は、地元の鉄工所に勤め、鉄骨構造の設計を担当することで資格に必要な実務経験を積み、目標であった一級建築士を取得。その後、後勤設計事務所では、木造・鉄骨造・RC造とより広範囲な設計に携わることで「自分の設計がしたい」「将来独立したい」という思いが生まれ、現在の設計事務所を独立開業する経緯に至りました。それに合わせ必要と感じ

たのが、自己研鑽や建築業以外の異業種との交流、そして地元大館への恩返しや地域貢献と考え、青年経済人団体への入会を申し込みました。

後に、この団体での活動の一環として訪れた久々の母校

で30周年のを知り、執筆を依頼されたというのが今回の事の経緯となります。

御校より建築を学び始めてから約30年、設計者として独立してから10年以上が経ちましたが、設計という仕事はやればやるほど奥が深く、何歳になっても目を養い、経験を積み作業に終わりはありません。豊かな才能に溢れる方ならともかく、一般的には失敗と反省を積み重ね、仕事が身

体に染みついていくものだと常々実感しております。

建築は、人が生活していく基礎となる「衣」「食」「住」の全てを考えるやりがいのある素敵な仕事だと思っていま

報酬であり、幸せな職業だと感じる瞬間でもあります。

良い仕事をすれば必ず誰かが幸せになり、誰かが幸せになる分だけ自分も幸せになる。目先のお金を稼ぐだけの仕事では、それは決して起きません。仕事に限らず勉強や遊び、何をやるにしてもワクワクやドキドキがある方が絶対に面白いし楽しい。そして

地元への恩返しや感謝も忘れず、祭りやイベント・街づくり等へ参加することで仲間が増え、それがより人生を豊かにしてくれます。

「食(ダイニング・料理)」「住(安らぐ・楽しむ・寝る)」の三要素をクライアントと一緒に熟考し、設計の意図

最後になりましたが、建築は一生涯び、楽しめる仕事。これからも卒業生・在校生より沢山の優秀な建築士が生まれること、そして皆様の益々のご活躍を祈念申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。

「内装・外装・インテリア)」「食(ダイニング・料理)」「住(安らぐ・楽しむ・寝る)」の三要素をクライアントと一緒に熟考し、設計の意図

最後になりましたが、建築は一生涯び、楽しめる仕事。これからも卒業生・在校生より沢山の優秀な建築士が生まれること、そして皆様の益々のご活躍を祈念申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。

